YACかわら版

第125回

エヴァー・ギブン

2021年3月26日

地中海と紅海を経由して北大西洋と北インド洋を最短で結ぶスエズ運河が23日から使用不能になりました。毎日50隻以上の船舶が通過しているそうです。

23日午前世界最大級巨大コンテナ船「エヴァー・ギブン」がスエズ運河で座礁(ざしょう 浅い場所で船が動けなくなる)しました。運河をふさぐように動けなくなりました。2018年に日本の今治造船丸亀ドックで建造され台湾の「EVERGREEN」社が用船するパナマ船籍のコンテナ船です。



20000個のコンテナを積みます。399.9 x 59 m約20万トンです。

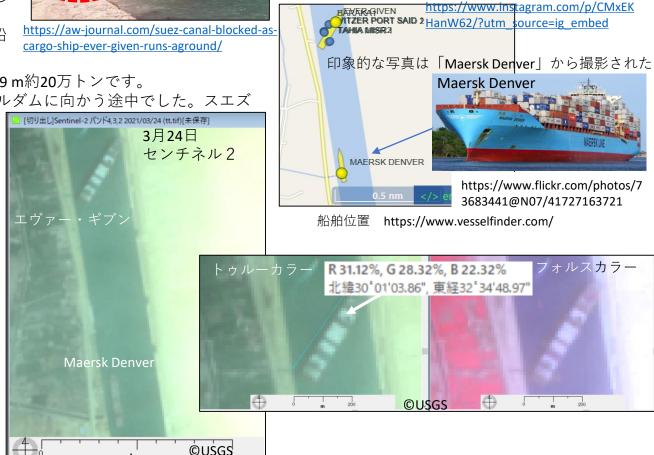
「エヴァー・ギブン」は中国からロッテルダムに向かう途中でした。スエズ

運河入口でいったん仮泊し数隻の船舶とグループ(2番目の位置)になってスエズ運河に入りました。事故場所は、スエズ運河が2本に分かれていない場所だったため、運河の航行が全面的に不可能になりました。幸い乗組員の方は無事なようです

3月24日17時41分にスエズ運河周辺をセンチネル2が観測しました。 「エヴァー・ギブン」は世界最大級のコンテナ船ですので見つけやすいはずです。天候は少し悪いようです。

座礁現場を拡大しました。

運河の東側は砂漠ですが、西側は緑が 豊かなようです。



護岸

運河をふさぐようにとまっています

後ろを進んでいたコンテナ船の積荷越しに

エヴァー・ギブン

EVERGREEN

運河の幅

